

# 音風景は文化遺産となりうるか

音風景の価値とは何だろうか？その答えのひとつとして、音風景がその場所の歴史や文化を反映していることを挙げる事ができるだろう。このシンポジウムでは、「音風景は文化遺産となりうるか」という問いを軸として、音風景の社会的価値について議論する。

2019.05.26 SUN 13:30start  
(開場13:00/終了17:30)

青山学院アスタジオ 地下ホール

東京都渋谷区神宮前 5-47-11

## 15:40- 3 ディスカッション

### 音環境は文化遺産となりうるか

荻谷勇雅 (日本イコモス国内委員会副委員長)  
土田義郎 (金沢工業大学建築学科教授/建築環境工学)  
鳥越けい子 (青山学院大学総合文化政策学部教授/音の環境文化学)  
大門信也 (関西大学社会学部准教授/環境社会学)

終了後、情報交流会も予定。

## 14:30- 2 事例報告

### ミュージックサイレンをめぐる

上野正章・兼古勝史 (協会共同研究プロジェクト)

日本サウンドスケープ協会は、「ミュージックサイレン保全・利活用に係る提言書」を2018年12月に公表した。ここではミュージックサイレンの歴史と現状ならびに提言書公表に至る協会活動の経緯について報告する。

## 13:40- 1 基調講演

### 文化遺産保全の歴史と展望

荻谷勇雅 (日本イコモス国内委員会副委員長)

イコモス：国際記念物遺跡会議 (International Council on Monuments and Sites)。文化遺産保護に関わる国際的な非政府組織で、ユネスコの協力機関として世界文化遺産の候補となった物件を調査し、世界遺産委員会に報告するなど活動をしている。 <https://icomosjapan.org>

コーディネーター  
箕浦一哉 (山梨県立大学国際政策学部教授)

主催：日本サウンドスケープ協会

共催：青山学院大学総合文化政策学部鳥越研究室

資料代：1,000円/会員・学生は無料 お申し込み・詳細はウェブで。

[soundscape-j.org](http://soundscape-j.org)



萩谷勇雅 (かりやゆうが)

日本イコモス国内委員会副委員長。1948年生まれ。京都大学工学部建築学科、同大学院修了、工学博士、一級建築士。京都市役所都市計画局勤務後、1995年から文化庁建造物課主任文化財調査官、同建造物課長、参事官、文化財鑑査官を経て、2009年退職。2009～2014年、国立小山工業高等専門学校校長。著書に『京都—古都の近代と景観保存』(至文堂,2005)、共編著に『日本の町並み』(山川出版社,2016)など。

上野正章 (うえのまさあき)

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究会研究員。大阪大学大学院文学研究科修了。博士(文学)。専門は音楽学。日本近代音楽文化史、過去の音環境・音風景(サウンドスケープ)を研究。著書に『謡を楽しむ文化—京都の謡の風景』(共著)など。

兼古勝史 (かねこかつし)

立教大学・武蔵大学社会学部メディア社会学科他非常勤講師。千葉大学大学院教育学研究科修了。高校音楽講師の後、サウンドスケープ研究機構研究員として練馬区「しずさ10選」他音の環境教育、音風景の調査研究等に携わった後、BSラジオ・CSテレビ放送ディレクター、プロデューサーとして「日本音紀行〜残したい日本の音風景100選」等の番組を制作。著書に『日本人はロバの耳』(共著)。

土田義郎 (つちだよしお)

金沢工業大学建築学科教授。早稲田大学理工学部建築学科卒。東京大学大学院にて建築音響、環境心理を学ぶ。以降、地域の環境保全やまちづくりを視野に、茶室・庭園のサウンドスケープ等を研究。風鈴コレクター。日本サウンドスケープ協会、日本建築学会、日本音響学会、日本騒音制御工学会、日本デザイン学会各会員。

鳥越けい子 (とりこえけいこ)

青山学院大学総合文化政策学部教授。音文化の調査研究、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用を視座に入れたまちづくり、環境をめぐるデザインから保全に至る各種のプロジェクトを行いながら、現代文明の枠組みを再統合するサウンドスケープ概念の可能性を追求している。著書に『サウンドスケープ:その思想と実践』『サウンドスケープの詩学』など。

大門信也 (だいもんしんや)

関西大学社会学部准教授。専門は環境社会学。社会学・規範理論をふまえた騒音政策研究、音の記憶や文化、適正技術にもとづく持続可能な地域社会づくりに関する研究などに従事。著書・論文に『規範理論の探究と公共圏の可能性』(共著)、「草の根サステイナビリティの論理とその条件」など。

箕浦一哉 (みのうらかずや)

山梨県立大学国際政策学部教授。専門は環境社会学。音風景・景観をめぐる地域文化・社会政策、環境保全に関する市民活動・ガバナンス、地方移住と地域コミュニティなどの研究に従事。著書に『コモンズをささえるしくみ』(共著)、『生活環境主義のコミュニティ分析』(共著)など。

# 音風景は文化遺産となりうるか



## 青山学院アスタジオ

東京都渋谷区神宮前5-47-11  
東京メトロ「表参道」駅より徒歩5分。  
駅B2出口より渋谷方向へ。  
Found MUJIを右折。  
直進し左手の4階建てのビル。



## 春季研究発表会のご案内

シンポジウムの前日に、  
春季研究発表会を開催します。  
詳細・アクセス方法などはウェブをご覧ください。  
併せてご参加ください。  
日時: 5月25日(土) 13:00-18:00(予定)  
会場: 東京大学柏キャンパス  
新領域環境棟6階講義室  
資料代: 会員無料/学生500円/一般1000円